

高山市立小中学校の学期の見直しについて

高山市 教育委員会 学校教育課

高山市では、これまで小中学校において、長期休業を学期の境とした3学期制を長年引き継いできました。

しかし、時代の変化に伴い、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化するなかで、強くたくましく生き抜く子どもたちの姿を願い、今年3月に「高山市教育大綱」を策定しました。

また、平成32年には小学校、平成33年には中学校の学習指導要領が改訂され、今後は「主体的・対話的で深い学び」が求められると共に、小学校における英語教育の拡大に伴う授業時間の増加も予定されています。

こうした背景等を鑑み、高山市教育委員会では、持続可能な地域を目指す上で、次代を担う子どもたちに身に付けさせたい力を明確にすると共に、社会（地域）に開かれた教育を進める取り組みの一環として、3学期制の見直しを検討しているところです。

検討にあたり、市民の皆様のご意見を参考とするため、市民意見の募集をさせていただきます。

◆学期の見直し（前期・後期制の導入）についての概要

1. 目的

教育活動を見直し、子どもに向き合う機会と場面を充実させ、学校・家庭・地域が協働した高山市の教育を進めるため

- ・高山市教育大綱（H29.3.23策定）を具現化すること 【別紙1】
- ・次期学習指導要領（H32小学校、H33中学校全面実施）の準備を進めること 【別紙2】
- ・持続可能な地域を目指し、次代を担う子どもたちに必要な力をつけること
- ・「社会（地域）に開かれた教育課程」を念頭に、各校の教育活動を見直すこと

2. 本年度のこれまでの取り組み

- ・4月～6月 視察・調査を含めた検証・協議
- ・7月～8月 昨年度の経緯と現在の進捗状況を説明
- ・9月～10月 広く意見を聴取（前期・後期制とは、不安や疑問について）
 - 1) 市PTA連合会長会との意見交換会
 - 2) 保護者・地域等との意見交換会（9月26日～10月24日 市内全31校）
 - 3) 今回の市民意見の募集

3. 前期・後期制のメリット（魅力）とデメリット（課題）

【別紙3】

4. 今後の予定

保護者・地域等との意見交換会や、本市民意見の募集で寄せられたご意見等に対する高山市教育委員会の考えをまとめ、前期・後期制を導入した場合における不安や疑問等を解消できるよう対応を進めます。